

令和5年度「元気ちば！健康チャレンジ事業」 事業評価

事業目標	ストラクチャー評価（構造）	プロセス評価（過程）	アウトプット評価（事業実施量）	アウトカム評価（結果）
<p>評価項目・評価指標 目標値</p>	<p>(1) 事業の実施体制 (2) 予算の確保 (3) 介護部門と国保部門との連携 (4) 次年度の事業実施の準備</p>	<p>(1) 市町村との連携調整 (2) 協賛店の獲得 (3) 事業の周知</p>	<p>(1) 市町村説明会の開催 参加市町村数 54 市町村 (100%) (2) 市町村からの相談件数 (3) 協賛店からの相談件数 (4) 啓発資材の作成枚数 カード台紙：10,000 部</p>	<p>(短期的なアウトカム評価) (1) 健康ポイント事業実施市町村数の増加 (2) カード交付枚数の増加 (3) 協賛店獲得数 200 店舗 (令和5年度目標)</p> <hr/> <p>(長期的なアウトカム評価) 健康ちば 21 (第2次) の評価指標で該当する項目の改善 ・ 県の健康寿命の延伸 ・ 栄養・食生活に関する項目 ・ 身体活動・運動に関する項目 ・ 循環器疾患に関する項目等</p>
<p>実施状況と評価</p>	<p>(1) 委託業者と月1回以上打合せを行い、円滑に事業を実施することができた。達成</p> <p>(2) 事業継続にあたり必要な額の予算を要望し、確保することができた。達成</p> <p>(3) 高齢者福祉課・保険指導課と各課の事業を共有し、協力することができた。達成 ◇本事業の市町村説明会において、国庫補助制度についての説明を行った。 ◇市町村国保保健主管課長会議において、本事業についての説明を行った。</p> <p>(4) 次年度の仕様書(案)を作成した。次年度の業務委託を公募(プロポーザル)し、選定委員会(書面)を経て、委託候補者を決定した。達成</p>	<p>(1) 以下により、市町村との連携調整を図ることができた。達成 ◇市町村説明会の実施 7月20日に、本事業概要や市町村の健康ポイント事業実施状況、取組好事例の紹介等を行う説明会を実施した。 ◇連携市町村へのフォロー 事業推進に係る相談・調整、申請用台紙の変更、サイトページの追加・修正、連携市町村エリア内の協賛店拡大のための協力、連携、事業ツールの追加発送等の各種フォローを行った。 ◇未連携市町の連携開始に向けた調整 状況の確認、連携するための課題等のヒアリング及び相談・調整、健康ポイントメニューの事例紹介、申請用台紙の雛形「ち～バリュ～モデル」の送付等の働きかけを行った。</p> <p>(2) 以下により、協賛店の獲得のための働きかけを広く行うことができた。達成 ◇SNS投稿(Facebook、Instagram、X(旧Twitter))による協賛店PRや情報発信、Facebookリード広告で興味関心を持った企業団体への電話やメールによる案内等を実施した。 ◇連携市町村を通じて、商工会・各種団体等とのネットワークを活用し、募集チラシ930枚の配布や設置をした。</p> <p>(3) 以下により、広く県民へ事業周知を図ることができた。達成 ◇事業PRチラシ10,530枚、事業PRポスター49枚を配布 ◇専用WEBサイト「ち～バリュ～ネット」による情報提供 閲覧数16万PV(令和5年4月～令和6年3月現在) ◇SNS記事投稿 366回(Instagram, Facebook, Twitter)</p>	<p>(1) 市町村説明会の実施 ・ 令和5年7月20日開催 ・ 参加市町村 50市町村 (92.5%) 未達成 うち12市町がオンデマンド視聴 ・ 当日欠席の市町向けに、オンデマンド配信(8月2日～16日)を行った。</p> <p>(2) 以下のとおり、市町村からの相談に対応することができた。達成 ◇連携市町村からの相談 16市町 電話・メール対応 52件 ◇未連携市町からの相談 9市 電話・メール対応 18件 4市 打合せ 4回</p> <p>(3) 協賛店から44件の相談に対応することができた。達成</p> <p>(4) 啓発資材として、カード台紙を10,000部作成することができた。達成</p>	<p>(短期的なアウトカム評価) (1) 令和5年度(令和6年2月末) 41市町村達成 全市町村数41/54 (75.9%) 【年度別健康ポイント事業実施市町村数】 事業開始時(令和2年12月) 28市町 令和3年度末 36市町村 令和4年度末 40市町村</p> <p>(2) 5,316枚(令和5年4月～12月) 達成見込 4,405枚(令和4年4月～12月) 【年度別カード交付枚数】 令和2年度 1,484 令和3年度 8,601 令和4年度 8,691</p> <p>(3) 206店舗・達成率 103%(令和6年2月末) 達成 【年度別協賛店獲得数】 令和2年度 458店舗 令和3年度 462店舗 令和4年度 157店舗</p> <hr/> <p>(長期的なアウトカム評価) ○評価項目 県の健康寿命の延伸 男性 72.61(令和元年) 女性 75.71(令和元年) 栄養・食生活に関する項目：悪化傾向 身体活動・運動に関する項目：悪化傾向 循環器疾患に関する項目：良好</p>
<p>総合評価</p>	<p>【全般】事業が円滑に進むよう、委託業者と月1回以上の打合せを行い、進捗状況や課題の整理、解決策等について確認しながら事業を実施することができた。</p> <p>【市町村の事業参加】多くの市町村が参加できるようオンラインによる市町村説明会を7月に1回開催した。説明会では県内市町村の健康ポイント事業実施状況や県との連携状況、標準的な事業モデルの紹介、市町村が実施するポイント事業の好事例の紹介などを行い、令和5年度は新たに3市と連携を開始した。これにより県内の41市町村(75.9%)において健康ポイント事業が実施され、30市町村(55.5%)と連携することができた。</p> <p>【協賛店獲得】SNS投稿による協賛店PRや情報発信、Facebookリード広告で興味関心を持った企業等への電話やメールによる案内等の実施、また、連携市町村と協力した地元商工会・各種団体等への案内や募集チラシの配布・設置などにより、令和6年2月15日時点で206店舗を獲得し、年度当初目標の200店舗を達成することができた。</p> <p>【次年度へ向けて】令和6年4月から事業未実施の3市が県と連携の上、事業を開始する。引き続き、標準的な事業モデルや健康ポイント事業を実施している市町村の好事例を紹介するなど、事業未実施の市町が事業を開始しやすくなるよう情報提供することにより、事業実施市町の増加を図る。 ち～バリュ～カードの更なる魅力向上のため、協賛店の募集とは別に企業・団体協賛型の新たな連携企画の検討を進める。 事業認知度向上のため、県内関係団体や市町村の広報誌に掲載する等、事業の広報に協力をしてもらえるよう働きかける。</p>			